



## 第55期第三四半期を終えて

今年も9月に入り、いよいよ第55期も残すところ9月・10月・11月の第四四半期3ヶ月となりました。8月は夏日・猛暑日が続き、例年以上の暑さとなりました。台風が接近する日もありましたが、比較的晴れの日が多く暑さの続く天候となった8月でした。9月もまだまだ暑さの続く月となりそうなので、水分補給は十分行って頂き、暑さ対策には十分心がけて頂けたらと思います。

今期も第三四半期が終わり、いよいよ最後の四半期に入ってまいりました。第三四半期は材料の関係で一部の仕事は減産となりましたが、他の業種では増産や新たな仕事の取り組みなどがあり、売上の方は計画通りに進めることが出来ました。部門長をはじめ社員の皆様には日々のご協力を頂きありがとうございました。第四四半期は材料の関係も落ち着きつつありますので、計画通りに進めて行けるよう引き続きのご協力をよろしくお願いします。

9月は熱中症対策やコロナ予防対策を施しながら、体調には十分気を付けて頂いて1ヶ月間どうぞよろしくお願いします。

社長 太田 聡  
 編集担当：島

## ハラスメントについて（第14回）【スモハラ】

今回はハラスメント7項目として、スモハラ（スモークハラスメント）を取り上げます。

### 【スモハラ（スモークハラスメント）】

スモハラとはタバコの煙や喫煙者に起因するハラスメントのことです。意味としては「喫煙者が非喫煙者に対してタバコの煙やニオイなどで不快な思いをさせてしまう行為」のことを指します。

典型的な例としては、以下のものが挙げられます。

1. 打ち合わせや会議などで同室にいる上司や同僚の喫煙によって煙の害を受ける。
2. 車での移動時に車内で喫煙されて煙の害を受ける。
3. 休憩時に喫煙していた人が戻ってきた時のタバコのニオイが不快である。
4. 飲み会の場での受動喫煙
5. 上司からの喫煙の強要や嫌がらせなど

ただ最近では、企業内での受動喫煙対策が法律で義務づけられたことにより、どの職場でも受動喫煙防止に努めなくてはならないため、以前よりスモハラは減少したと言われています。

その代わりに、非喫煙者が喫煙者に対して禁煙を強要する、喫煙することに対して厳しく叱責する行為など、逆スモハラが問題になっています。



禁煙



喫煙



## ガソリンの話

政府は、ガソリン価格抑制のための補助金について、9月末までとしている期限を延長し、10月以降も継続する方針を固めました。まず、ガソリン補助金とは22年1月から開始され、コロナ禍～ウクライナ情勢の影響で高騰している原油価格が経済回復の重荷にならないことを目的に、石油元売・輸入事業者へ価格上昇を抑える原資を支給、ガソリンなどの小売価格の急騰を抑えることをねらった燃料油価格激変緩和事業の一環です。この補助金が無ければ実際は1ℓ/200円越えてました。ですが主要産油国は減産を続けており、原油が大きく値下がりする見通しは立っておらず、原油価格が横ばいで推移し、為替の大きな変動がない場合には、消費者が支払うガソリン価格は徐々に値上がりすることになります。車は必要不可欠の私達、更にこれから秋～冬になるにつれて灯油を使う家庭も増えてくなく、どうなってしまうのでしょうか。

皆さんはガソリンに税金がいくら掛かっているかご存じでしょうか。税金といっても1つだけではありません、計4つの税金が掛かっています。↓

①石油石炭税      ②ガソリン税(本則税率)      ③ガソリン税(暫定税率)      ④消費税

①②③税金 + ガソリン本体価格 = 合計金額 + ④税金 = 販売価格

例 1ℓ 150円の場合↓

①石油石炭税 2.8円   ②ガソリン税(本則税率) 28.7円   ③ガソリン税(暫定税率) 25.1円

①②③税金 56.6円 + ガソリン本体価格 79.76円 = 136.36円 + ④税金 13.64円 = 販売価格150円

なお、税金のためガソリン本体価格がいくら安くなっても同一の金額が掛かります。①②③税を課せられた価格に④消費税が上乗せされるため、価格が高騰する度に2重課税が一！と騒がれています。ガソリンを安くするためには世界経済が安定するほかありません。



編集担当: 横井

## 人質と転機 ～徳川家康～

先月号は主な年表だけで埋まっていしまいましたが、実際はもっと多くの出来事があります。今月号から少しずつご紹介していきます。

1543年 三河の岡崎城で城主 松平弘忠の長男として生まれる、幼名は竹千代(たけちよ)。(織田信長よりも11歳年下になる。)三河は東に今川家、北には織田家があった。この2つ大国の力関係を見ながら政治を行う必要があり、予測を見誤ればどちらかの大国に呑み込まれてしまう危機をいつも抱えていた。今川家に付くか、織田家に付くか、悩んだ挙句、今川家に付くことを選んだ城主 松平弘忠。

1548年 竹千代が6歳のとき今川家に人質として出される。(織田家が三河に侵攻してきたため、敵対する今川家に援軍を要請、援軍を送る代わりに交換条件としての人質)だが今川家に向かう道中、裏切りにより織田家に攫われ(売り飛ばされる)結果織田家の人質に。信長との初対面。

1550年 8歳になった竹千代は今川家と織田家の人質交換により今川家の人質となり今川義元の元で暮らす。人質と言っても監禁、拘束等は無く、あくまで監視のも

と暮らすといった人質生活でした。

1555年 元服の際に今川義元の元を取って松平元康へ改名。17歳(1560年)まで今川義元の元で過ごす。

57年に今川家の重臣の娘、瀬名姫(せなひめ)と結婚。

58年今川義元の命を受け寺部城城主の鈴木重辰の討伐を果たす。(初陣)

59年男の子が誕生、竹千代と命名。(後の徳川信康)、翌年には女の子が誕生、亀姫と命名。順風満帆でしたがこの年に大きな転機が訪れます↓

1560年 桶狭間の戦いにより今川義元が死亡。

今川軍2万5千人、織田軍は3千人(一説)という大差がありつつも今川軍は破れ、今川義元は死亡してしまいます。松平元康は今川義元の命令で大高城への兵糧入れを命じられたため、別の軍を引き連れていました。

今川義元は桶狭間山で休憩中だったところを急襲され、完全に油断していた今川軍は大混乱に陥り、もはや立て直し不可能と判断した今川軍は退却を開始。ですが追撃され、討たれた今川軍は総崩れとなり織田軍の勝利となりました。大高城でその知らせを受けた松平元康。

次号へ続きます。(どうする元康)

編集担当: 横井

## 編集担当より

今年は、1923年に発生した関東大震災から、100年の節目に当たります。その誕生日である9月1日が「防災の日」と定められているように、近代日本における災害対策の出発点となりました。私たちのいる東海地方も160年以上にわたり大規模地震が発生しておらず、地殻のひずみの蓄積が認められていることから、「東海地震はいつ発生してもおかしくない」と考えられています。

もしも今、大地震が起きたら、自分、家族、仲間の命を守れますか？災害を防ぐことはできなくても、備えることはできます。関東大震災100年を契機に、防災について考え、いつか来る災害に備えましょう。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。  
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004  
静岡県磐田市匂坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地  
TEL: 0538-38-2228 FAX: 0538-38-2898  
URL: <https://www.apollo-elec.co.jp>

編集担当: 管理室

発行日: 令和5年9月1日